

嘉永四亥ノ五月

農業年中行事

沖浦五ヶ村庄屋

原文右衛門存内

正月

- 一 三ヶ日之間諸神仏江神鏡餅御膳神酒等を備、其家之規格を整、神仏江参詣、地下役座親類朋友江年始之礼式仕候事
- 一 二日鋤初鋤初と申、餅搗臼を洗ひ、藁ヲ五寸廻り位の把二結、齒朶櫛を結付、臼江備置、夫より恵方江向、土中江植候事
- 一 同日樵初と申、山江出、山神江米餅を備、松柴之類言本樵帰り候事
- 一 同日打初と申、藁を打、牛ノ緒子・追綱等ヲ綯、家ノ内荒神江備江、錢さしを綯、歳徳神江相備、其外農道具入用之綱綯初仕候事
- 一 六日摘初と申、七種を摘、清洗、恵方棚江備へ候事
- 一 七日人日之節句と唱、摘初之七種を入粥二焚、神仏江備候事
- 一 十一日御帳祝ひと申、御帳之礼トして畔頭元江礼式仕、土器二而神酒頂戴仕候事
- 一 同日搗初と申、言升枅江米を入臼江居、杵ヲ当初、歳徳神江相備、小商ひ仕候ものハ帳祝として諸帳ヲ綴、同神江相備候事
- 一 同日扱初と申、穂懸之稻を扱キ、歳徳神江相備候事
- 一 十四日夕、とうと餅之粥と申、諸神よりおろし置候注連餅海辺又ハ畠中江持出し清火二而焚はやし、手習子書初をも投入、焚はやし之火二而餅を焼帰り、歳徳神江相備、夫ヲ給候得ハ夏病不仕と申伝二而、家内打寄給申候、又白粥へ餅を入焚、神仏江備江、前断扱初之藁江粥ヲ附荒神江備へ、柑類其外櫛ノ木等江粥を附候得ば能実との謂二而、諸木江附候事
- 一 十五日上元之祝儀と唱、神仏江致参詣、相休候事
- 一 廿日地下惣祈祷として於寺社祈念有之二付地下中男女共参詣仕候事
- 一 殿様御祭りトして村々於鎮守社吉日撰執行相成、地下中男女共参詣仕候事
- 一 立春江入候比より追々雨水之頃迄年内麦式番守護仕、残之守護仕、牛ノ肥水糞等懸調、未（末）方より麦之草堀取懸候、尤雨降雪寒強ク候節ハ三田尻御用之大苦編立、牛ノ追綱野具入用之綱等綯調候事
- 二月
- 一 啓蟄江入候頃より苜高菜之類植附仕、正月末（末）方より取掛候麦之草堀取、三番守護仕、牛ノ肥水糞等懸調、唐芋其外種伏候床を拵候事
- 一 春分二入式三日前より茄子・煙草・高黍・唐芋・瓜之類種を伏、葱・里芋・山芋・束芋之類植附、追々麦之留守護仕、肥を入、相片付候事
- 一 彼岸中日二八旦寺江参詣、墓并親類中位牌詣り等仕、相休候事
- 一 往還道造り松苗植付、田畠普請損処取繕等仕候事
- 一 三田尻・青江其外浜稼二雇れ候者、上旬頃より罷越候事
- 一 農業間合二ハ薪拵売、割木松葉等採用、雨降夜仕業二ハ苦繩類相稼、銘々二入用之莖等

仕調候事

三月

一 三日上巳之節句と唱、女兒有之家ニハ朔日頃より雛を飴、二日夕草餅を搗、三日朝神仏・雛江相備、鎮守社且寺江参詣、地下役座・親類・智音江礼式仕、同日より荒神野外江御幸相幸相成候逆、銘々餅ヲ備へ、祝候而相休候事

一 清明二入候頃より粃ヲ水ニ五六日■、七日目位より揚ケ莖ニ包、五六日ねせ置、芽を出し候内ニ苗代拵仕候、尤里田ハ六七日も遅れ粃■候事

一 穀雨二入候頃より粃蒔附候、尤蒔付候日より植付候日迄、凡奥田ハ五十四五日、里田ハ五拾貳三日、早稲ハ

一 四拾四五日位、夏至二入候頃迄を見詰ニ植付候考量を以銘々蒔付候事

一 同頃より水田之畔岸を辺り、荒蒾起江取懸り、畔を掛整、八十八夜頃畠江大豆・小豆・大角豆・牛房等蒔附候事

一 川除其外諸御普請・地下役普請所共堀さらへ損処取繕等ニ出勤仕候事

一 農業間相雨降夜仕業ニハ苦繩等相稼候事

一 戸田浦海辺住居之内八拾軒余之分、農業江漁業取交相稼、三月中旬より五月比迄ハいかなご取得、干鰯二仕、十一月比より三月比迄いり子取得仕、其外雜魚取得、且々渡世相凌候事

四月

一 立夏二入候比、葱種を取、水田ヲ牛ニ而搔鏝候事

一 小満二入候比より山野合壁山より草刈出、水田江入、田辺之草共刈入、蒾込仕候事

一 同頃麦田入用之草山野より刈取置候事

一 同頃より芒種之比過迄麦刈、空豆・猿豆共追々混納仕候事

五月

一 五日端午之節句と唱男兒有之家ニハ紙幟を立、四日菖蒲ニ而家祢を糞、五日早朝粽・小麦団子等を拵、神仏江備、鎮守社且寺江参詣、地下役座江礼式相濟せ、麦混納最中ニ付節句ニ而も休足不仕、野方相稼候事

一 芒種二入四五日前より水田之代を搔植付仕、麦跡之畠を拵、粟・夏胡麻を蒔附、追々茄子・高黍・煙草之類植付仕、麦跡之田を蒾起、水を溜搔鏝、畔を掛大豆ヲ植、岸之草ヲ刈入、山野合壁山より草刈出、下地刈置候、又ハ牛ノ肥等を入、蒾込候事

一 大豆・小豆・大角豆等之吉番守護仕候事

一 夏至二入候比より麦田之代ヲ搔、植付仕、小黍・秋胡麻・秋大豆等蒔付、半夏之頃専ら唐芋植附候事

一 総而稲作植附相揃、翌日藁ニ而実盛之姿を拵、寺社を招請、祈念相成、村内持廻り虫送り之営仕候事

六月

一 小暑二入候頃より水田麦田共稲之吉番草を取夫より七八日を経、式番草を取、又十日程相立三番草を取、水糞を入、相濟候得共、土地に寄、草余分はへ候処ハ、四遍も取候事

一 同頃より粟・高黍・胡麻・大豆・小豆・大角豆・煙草・茄子・里芋・瓜之類追々守護仕、水糞ヲ懸整候、尤唐芋之上糞トして牛ノ肥・屋祢葺替之古藁・山野より草刈出、取合置

整候事

— 家葺替、土用頃より盆前迄大概相調候事

— 大暑二入候頃藪子堀取、又同節二植置、追々守護水糞等を懸候事

— 農業間相二八苜二相成篠・茅、葛葉等を取候事

七月

— 七日七夕之節句と唱、井戸之水替仕、水神へ神酒・米を備、墓所掃除仕、夫より神仏江参詣仕、相休候事

— 十三日二八魂棚を瓶、瓜・茄子・素麺等之供物を備へ、同夕より靈膳を備候事

— 十四日十五日、精靈を祭り、靈膳相備、諸神へ神酒御膳を捧、中元之祝儀と唱、鎮守社旦寺江参詣、地下役座江礼式仕、親類中位牌・墓詣り等仕、十六日朝海辺川辺江魂棚之供物ヲ持出、香を焚、水ヲ手向、精靈送り仕、相休候事

— 立秋二入候頃、田岸之草を刈、畔大豆之草を取守護仕候事

— 処暑二入候頃より、大豆・小豆・大角豆混納仕、跡畠耕し、蕎麦蒔付、十日程相立、言番守護仕、五六日相立、式番守護仕、夫二而差置候事

— 同頃粟・小黍・高黍共混納、跡畠江牛ノ肥・山野より草刈出取交、菜・大根蒔候畠を拵、煙草吉番葉を欠取、干整候事

— 冬春牛ノ飼草山野二而刈干、困置候事

— 農業間相二八葛葉、苜二相成茅等を取候事

八月

— 十日小松村志駄岸八幡宮、十六日安下庄長尾八幡宮、氏神社二而御祭当日御膳神酒等相備、御神幸御供仕、相休候事

— 白露二入候頃より大根・蕪菜類蒔附、四五日相立言番守護仕、十日程相立式番守護仕、夫より廿日程相立三番守護仕、守護度々水糞を掛差置候事

— 胡麻刈取、葱蒔蒔伏候事

— 秋分二入候頃より早田刈上ヶ混納仕候、尤出来立之大小二寄三四日も後れ、日和相二而ハ其餘も後れ候事

— 刈初之稻穂懸と申、内荒神江相備候事

— 彼岸中日、旦寺并墓・親類中位牌詣り等仕、相休候事

— 農業間相二薪拵売、割木・松葉等採用、雨降日・夜仕業二八草履等相稼候事

九月

— 九日重陽之節句と唱、諸神仏江御膳神酒ヲ捧、鎮守社・旦寺江参詣仕、地下役座・親類等江礼式仕、相休候事

— 寒露二入候頃より、追々中田刈上、混納仕候事

— 同頃より唐芋少々宛堀給候事

— 霜降二入、追々晩田刈取懸、末頃唐芋種ヲ堀取候事

— 同頃より小麦・空豆・猿豆等薪附候事

— 雨降・夜仕業二八俵拵立、縄等相整候事

十月

— 初亥ノ日、荒神野より家之内江還御相成候由、銘々餅ヲ沢山二備、神祝ひ仕候事

- 立冬二入候頃迄晩田刈取、追々混納仕、早中晩田跡耨起仕候事
- 同頃蕪菜を取、漬物二仕候事
- 小雪二入五六日前より田方江専ら麦蒔付、水田堀上大麦・菜種薪付、水糞を掛、屋柵葺替之古藁・牛ノ肥等上糞二置候事
- 同頃苜・高粱之床を拵、種蒔附候事
- 唐芋堀取、蕎麦刈取跡之畠ヲ耕し麦蒔付、水糞を掛、屋柵葺替之古藁・牛ノ糞等上糞二置候事
- 小麦蒔附より廿日程相立、吉番中ヲ打、水糞ヲ懸、守護仕候事
- 牛房・里芋其外野菜之類堀上候事
- 大坂御運送米三ツ俵十日頃迄御蔵附仕候事
- 萩御蔵納餅米共廿二三日頃迄同断
- 御膳米撰立、上納仕候事
- 櫛実扱取候事
- 三田尻青江其外浜子稼之もの、下旬罷帰候事
- 雨降夜仕業二八俵拵立、縄等仕整候事
- 田島無之小身之者、当節より十二月比迄落松葉搔拾ひ、少々売払候事
- 十一月
- 大雪二入候頃より麦之吉番中を打、水糞ヲ懸守護仕候事
- 冬至二入候頃より大根を引取、跡之畠を耨起麦蒔附、水糞を掛、屋柵葺替之古藁牛ノ糞等上糞二置候事
- 萩御蔵納石大豆上納仕候事
- 楮切取、屋代紙屋江売捌候得共、真之纒二而御座候事
- 農業間相二八薪拵売、割木・松葉等採用仕、雨降日・夜仕業二八苦・縄・草履等之類相稼候事
- 十二月
- 麦蒔後れ候者ハ、吉番中を打、水糞を掛守護仕、早蒔之分ハ式番中を打、守護仕置候事
- 十三日、正月事初と号、煤払ひ初仕、且又納子雇ひ入代り二而神酒を備候事
- 農業間相二八売割木・松葉採用、雑木等持合候者ハ少々宛樵出シ、又八苦・縄之類相稼、越年之用意二売払候事
- 婦人式季混納之外八昼夜共紡織出精仕候事
- 廿五日頃より、追々餅搗仕、大晦日諸神江注連餅・祝餅・神酒・御膳等を捧、諸取遣、算用受払仕、年越仕候事

(中略)

戸田浦

— 生なき網と申船四艘、外二中押船一艘共以上五艘江拾七人乗二而網打、廻拾六尋・底式文深サ吉丈五尺・あたこ式拾五尋・引縄片手凡五拾尋位トして左右二付、生なき取得仕候事

但漁場之儀は笠佐島其外二而、三月

中旬より五月中迄相稼候事

一 手繰網と申、小船壹艘江貳人乗二而網打、廻六尋・底七尺五寸・深サ三尺五寸・引繩片手三四尋位二して左右二付小鰈・こち・あなこ・小えひ・手長鰯・生海鼠之類取得仕候事

但漁場之儀は、戸田浦沖合平郡島之間二而、十一月比より三月比迄相稼候事

一 生なき干仕立之儀ハ、引上ヶ直様浜辺取揚、式日程干立、相整候事

但生なき生言斗三升入桶式はい四合位干立、凡五斗入言表二相成候事

一 手繰網取得之雜魚、毎朝売払仕候、生海鼠之儀は煮海鼠二仕立、遠崎下受江送り方仕候事

右農業年中之行事月割二して調出仕候様此度御授之趣を以、累年仕来之農業漁事之次第前書之通御座候、以上

亥ノ五月

庄屋

原文右衛門 印